

What's?

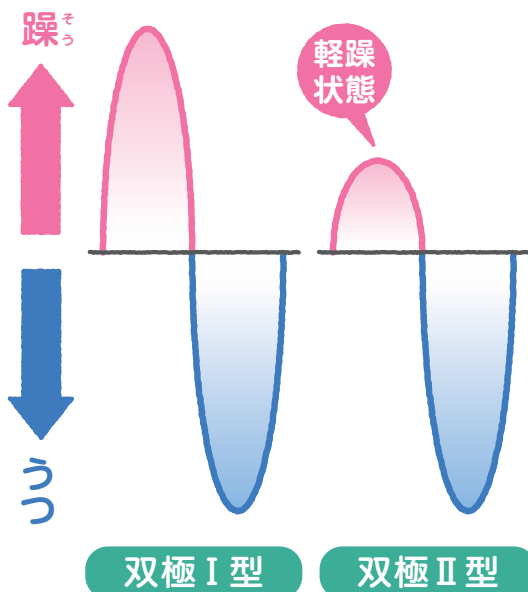
双極性障害 (躁うつ病※)とは?

※:昔は躁うつ病と呼ばれていましたが、現在は双極性障害という病名が一般的になりつつあります。

- 気分が高まる躁状態と気分が落ち込むうつ状態を繰り返す脳の病気です
- 性格や心の問題ではありません。およそ100人に1人がかかるといわれています¹⁾。
男女差はなく、誰でもかかる可能性のある病気です。

1) Grande I. et al.: Lancet., 387: 1561, 2016

激しい躁状態とうつ状態がある**双極I型**と、より軽度ながら気分が高揚した状態(軽躁状態)とうつ状態がある**双極II型**があります。



躁状態



- 自信满满になる
- 眠らなくても平気
- おしゃべりになる
- 行動的になる
- 考えが次々に浮かぶ
- 注意力が散漫になる

「躁状態」の主な症状

- 気が大きくなって高額な買い物をしてしまったたり、危険な行動をしたりする

など

うつ状態



- 気分が落ち込む
- なかなか眠れない、寝てばかりいる
- やる気がおきない
- 楽しめない
- 疲れやすい
- なにも手につかない
- 死んでしまいたくなる

「うつ状態」の主な症状

など

Check!

双極性障害は うつ病と違う病気です

同じうつ状態でも、双極性障害とうつ病は、治療法が異なるため注意が必要です。的確な診断のために、過去に躁状態または軽躁状態があったかどうかを、ご家族や周りの方の意見も聞いて、医師に正しく伝えましょう。



ラツダ錠とは

- 脳内の情報伝達物質のバランスを整えることにより、双極性障害におけるうつ症状を改善します。
- ラツダ錠20mg、40mg、60mgを服用する量にあわせて飲みます。

ラツダ
20

20mg

ラツダ
40

40mg

ラツダ 60

60mg

飲み方

- **1日1回食後**に服用します。
- ラツダは**食事の後**に服用することで吸収されやすくなるため、**必ず食事の後に服用**してください。



ラツダ服用中に次のような症状がみられることがあります

次のような症状がみられた場合には医師、薬剤師に相談するようにしてください。



体が落ち着かず、
じっとしてられない



胸がムカムカする
気持ち悪い



手が震える
手のこわばり

服用にあたって

- 気分がすぐれないときだけ服用するお薬ではありません。病気の症状が落ち着いてきたからといって、自分でお薬を飲むのを止めたり、減らしたりすると再燃のおそれがあります。また、自分の判断でお薬を増やしてしまうと副作用が出る可能性があります。**飲み忘れにも注意**が必要です。
- 続けて服用することで、次第にゆううつな気分を和らげる効果があらわれてきます。効果があらわれるまでには個人差があるので、医師の指示に従い、**きちんと服用し、あせらず治療**していきましょう。
- 不安なことや心配なことは、医師、看護師、薬剤師に遠慮なくご相談ください。